

みやぎのだより

No. 125

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和3年11月12日



遠田支部 (有)岩崎牧場 ロータリーパーラー

CONTENTS

草地簡易更新事業	1	牧草種子 2022年 新しい草種(ライグラス類)の	
酪農理解醸成CMを制作しました!	1	利用について	7
生乳需給の動向について	2	飼料情勢	8
組合員資格の確認について(お願い)	2	乳価の推移	9
冬場のコロナ対策で新型コロナとインフルエンザ		年末年始休業のお知らせ	9
を予防しましょう	3	令和3年度 生乳生産実績	10
自家産育成牛を預けてみませんか	4	理事会通信	10
牛用哺育飼料の値上がりについて	5	売りたい、買いたい	11
依頼検査の記載について(お願い)	6	編集後記	11

草地簡易更新事業

購買課

当事業は、東日本大震災の原発事故により草地除染を余儀なくされ、その後の草地管理と維持を目的に、昨年度からは春と秋の2回に分けて実施され、今年度は延べ11名、23.9haで作業が行われました。

簡易更新機による草地更新は、裸地の多い草地を耕起せずに表層部(約7センチ程度)をディスクにより切断して溝を作り、その中に播種を行う方法でケンブリッジローラー等による鎮圧が不要であることからスピーディー且つ発芽率が高いことが特長です。

しかし雑草の多い場合は除草剤で前処理を行うことや、ルートマットが厚い圃場では、発芽しない恐れがあることから完全更新が必要となるケースもあります。そのため、事前に雪印種苗㈱にご協力をいただき圃場の状況確認を実施しております。

今後、輸入粗飼料のさらなる値上がりが懸念されている中、粗飼料の自給率向上に効果的な当事業の活用をご検討ください。

また、本事業を実施するにあたり雪印種苗㈱をはじめ、七ヶ宿不忘機械利用組合他、関係者の皆様に感謝申し上げます。



酪農理解醸成CMを制作しました！

販売課（普及協会）

9月3日に白石・七ヶ宿支部の㈱エムエスファームさんにご協力をいただきCMの撮影を実施しました。普段の作業風景をドキュメンタリー風に制作し、酪農への理解醸成として、より多くの方に魅力をお伝えできれば幸いです。

CMは「宮城テレビ放送」にて10月20日～11月5日にかけて既に放送いたしました。2月の飲用牛乳が落ち込む時期にも放送されますのでご覧ください。

また、牛乳・乳製品を活用した料理コーナー「にゅうにゅうメニュー」を10月～3月までの第3金曜日に同局の「OH! バンデス」内で放送いたしますので、併せてご覧ください。



生乳需給の動向について

販売課

ここ数年都府県の生乳生産量が減少傾向で推移し、新型コロナ前の需要期前には生乳需給のひっ迫基調が続いてきたことから、全国的に国の畜産クラスター事業等を活用し生産基盤強化を進めてきました。

直近の生乳生産については、北海道・都府県ともに好調であり、前年比102%台で推移すると見込まれております。

一方生乳需給については、全国規模で新型コロナの感染拡大により、リモートワークや不要不急の外出自粛、飲食店の休業や時短営業等に伴う業務用需要の大幅な減少と、夏場の長雨や低温の影響により飲用向け需要が低迷し、脱脂粉乳・バター等向け等の増加によって在庫は過去最高水準に積み上がっている状況にあります。

また、年末年始については、飲用不需要期である上、一部量販店の休業や学校給食が休止されることから、生乳需給は大幅に緩和し、処理不可能乳が発生する恐れが例年以上に高まっている状況となっており、(一社)Jミルク等では生乳需給緩和対策を検討しており後日周知する予定です。

このような状況の中で、当組合の4月～9月までの生乳生産実績は、前年比98.6%で推移していることから、基本的には現状を維持しながら生乳生産に取り組んでいただきますようご協力をお願いするとともに、牛乳の消費拡大についても併せてご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

組合員資格の確認について(お願い)

総務課

組合員資格に変更があった場合は最寄りの支所、事業所へお申し出いただきますようお願いいたします。

※組合員資格の変更は、酪農を止めた場合や、お名前ご住所などの届け出事項の変更等のほか、正組合員から准組合員に、または准組合員から正組合員に資格が変更になる場合等が該当し、組合まで書面でその旨お届けいただくことになっております。

冬場のコロナ対策で 新型コロナとインフルエンザを予防しましょう

指導課

冬場は、さまざまな感染症が流行しやすい季節です。特に冬に流行するインフルエンザは、症状だけでは新型コロナウイルスとの判別が難しくなります。

しかし、酪農家のみなさんが「新型コロナウイルス対策」を行うことで、他のウイルスも流行しにくくなります。

冬場のコロナ対策で新型コロナとインフルエンザを予防しましょう。

1. 日頃の感染予防が大切です！

新型コロナウイルスは、感染者のくしゃみや咳などによる飛まつ感染、それらがついた手が、口や鼻・目を触るなどの接触感染で感染すると考えられています。

発症前から感染が広がる恐れがあるため、症状がなくても手洗い、マスクの着用などの以下の基本的な対策を日頃から行うことが重要です。

- ① マスクの着用
- ② こまめな手洗い
- ③ 咳エチケット
- ④ 人との距離に気をつける

2. 特に冬場は、加湿と換気が大事！

冬の時期は、窓を開けるのが難しくなりますが、感染対策として**定期的に換気**をしてください。

また、暖房などの使用により空気が乾燥し、喉の免疫力が低下します。**湿度を40～60%に保つ**ことも重要です。

3. 感染リスクが高まる「5つの場面」を避けましょう！

感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。感染リスクが高い行動を避けて、感染拡大防止に努めてください。

- 場面① 飲食を伴う懇親会等
- 場面② 大人数や長期間におよぶ飲食
- 場面③ マスクなしでの会話
- 場面④ 狭い空間での共同生活
- 場面⑤ 居場所の切り替わり

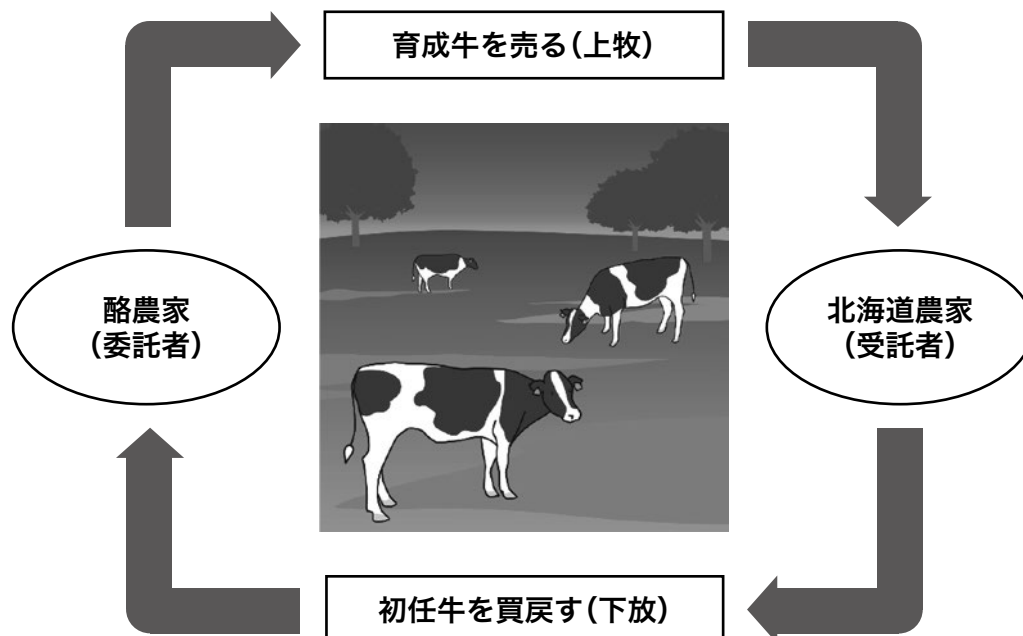


自家産育成牛を預けてみませんか

指導課

全酪連の事業を活用して、北海道預託事業を行っております。

【買取り買戻し方式の流れ】



【預託料金概算金額(生後8ヶ月で上牧した場合)】税込(円)

①	育成牛価格	143,000	月齢+5万前後の設定
②	預託基本料金	319,000	
③	運賃(下牧)	27,500	概算
④	輸送保険(下牧)	12,000	概算
⑤	預託運営費	11,000	
⑥	全酪手数料	6,600	
合計		519,100	
請求金額		376,100	(①+②+③+④+⑤+⑥)-①

※この事業は1日〇〇〇円ではなく、育成牛斡旋と初妊牛の売買で行っております。

※育成価格、初妊牛価格は、相場に左右されません。

※預託買戻し積立を行っており、下牧時の初妊牛買取りに充てています。

※詳しい内容は、各所指導担当までお願いします。

令和3年10～12月期の牛用哺育飼料は、前期(7～9月期)に比べ、トン当たり39,000円の大幅な値上がりとなりました。20kgの紙袋で780円の値上げということになります。

脱脂粉乳は直近12ヶ月の国際相場(米ドル/トンあたり)において、昨年10月から最大約20%の値上がりとなっています。この値上がりは複合的な要因によるもので、主な要因である5点について説明させていただきます。

①主要産地(米国、EU)の脱脂粉乳生産量の減少

米国やEUではコロナウイルスのワクチン接種率の上昇により、飲食店等サービス業の営業が初夏頃には本格的に再開され、その結果、チーズを中心とした乳製品の需要が急激に回復し、本来脱脂粉乳用に回される生乳が急遽乳製品の製造に使われたため生産量が減少し、値上がりに繋がっている背景があります。

②東南アジアでの需要増

近年、中国は元よりフィリピンやインドネシアといった経済成長の著しい東南アジアでの脱脂粉乳の需要が急増しています。特に米国からフィリピン、インドネシアへの輸出量は20年度で前年比50%以上急伸しており、この2か国だけで米国全体の輸出量の25%超を占める状況となっています。この急激な需要増が相場を押し上げる要因となっていることは間違いありません。

③円安の進行

年初に104円台だったドル/円の為替レートは、徐々に円安へ振れ続け、直近では114円台まで進行しています。単純計算で輸入品価格を10%弱押し上げる要因になります。

④原油高

代表的なWTI原油先物の相場は年初の1バレル(約160L)あたり50ドル程度から10月には80ドルを超えています。原油は燃料だけでなくプラスチックや化学繊維等石油製品として幅広い用途に利用されるため、原油価格の値上がりは様々な業界に影響を与えます。また、世界的な経済活動の回復に伴う需要の急伸で、LNG(液化天然ガス)や石炭といった他の資源も高値での取引が続いています。これから北半球では冬期を迎え、燃料需要は更に増加することが確実なため、各国政府は産油国へ原油の増産を求めています。今、この所、見通しは不透明です。

⑤海上運賃の上昇

粗飼料情勢でも説明させていただいておりますが、北米で輸入の最盛期を迎えていることから海上運賃は再び上昇を始め、高値圏での推移が続いています。中国ー北米間の運賃は、一昨年コロナ発生前の時期と比較して、現在では5倍以上となっており、北米から中国・日本、豪州から日本への運賃もほぼ2倍となっています。そのため上昇した運賃分を商品価格へ転嫁する動きが相次いでいます。

上記の要素が複合した結果が今回の哺育飼料の値上がりと考えられます。また、③④⑤の要因については、牧草や配合飼料価格へも影響を与えるものとなっています。とりわけ、③④については、今までは円安の際は原油安、円高の際は原油高と相対的に均衡を取る状況が多かったのですが、近況では円安で原油高という一番価格が高くなってしまっている状態になっています。

中国の経済成長に減速が観測される中、米国の金融緩和の縮小等、今後も多種の相場で外的要因に振り回される状況が続くため注視が必要です。

依頼検査の記載について（お願い）

販売課

1 サンプル容器に、ラベルシールを貼ります。

ラベルシール 押し方向

所属団体	みやぎの	所属団体	みやぎの
酪農家№		酪農家№	
抗生物質		抗生物質	
細菌・細胞		細菌・細胞	
アルコール		アルコール	
血 乳		血 乳	



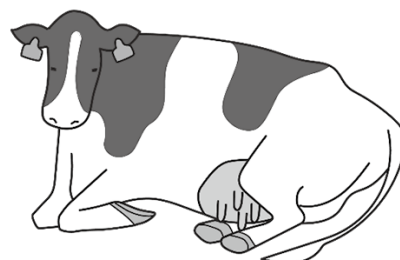
所属団体	みやぎの
酪農家№	
抗生物質	
細菌・細胞	
アルコール	
血 乳	

■サンプル容器購入時に、ラベルシールをお渡しします。

■検体数が多い場合や、ラベルシールが不足した場合は、各支所へご連絡ください。

2 検査項目に『○』を付けてください。

所属団体	みやぎの
酪農家№	
抗生物質	○
細菌・細胞	○
アルコール	
血 乳	



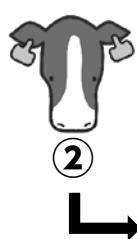
3 検体数が複数ある場合は、サンプル容器の裏に検体番号を記入してください。



①



(裏)



②

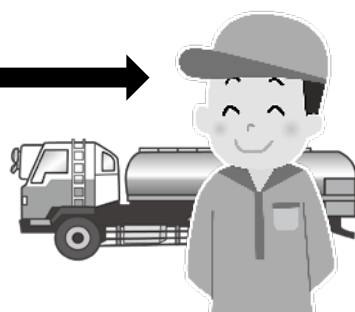


(裏)

■油性マジックで大きく記入してください。

4 採取後のサンプル容器は、直射日光を避け保冷库に保存し、集乳時に運転手にお渡しください。

所属団体	みやぎの
酪農家№	
抗生物質	○
細菌・細胞	○
アルコール	
血 乳	



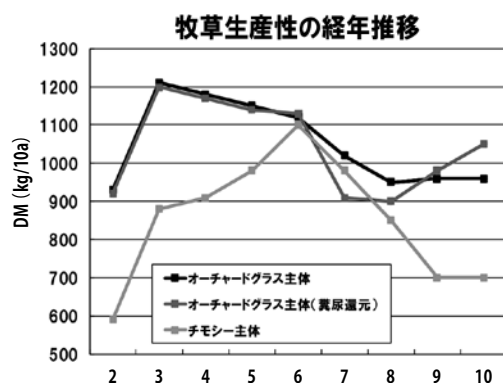
■水に直接入れて、サンプル容器を冷やす場合は、ラベルシールが剥がれやすいため、密閉された袋に入れて冷やしてください。

牧草種子 2022 年 新しい草種（ライグラス類）の利用について

購買課

宮城県ではオーチャードグラスやチモシーに多くの草地が利用されていますが、近年は温暖化により収量・品質の低下や利用年限が短くなるなど、栽培上の諸問題が増加傾向です。とりわけ平野部や湿害が出やすい転作田ではその傾向が顕著です。

これらの草種は播種後3～5年目が収穫量のピークとなり、収量や品質が低下する7～10年程度を目途に完全更新とすることで本来の特性を発揮します。（下図参照）利用年限が3年程度で更新となる状況では十分な収量が得られず、更新頻度も増えるため生産性が低下します。



最近では国の研究機関などによってライグラス系草種の育成が進み、宮城県で利用しやすい品種も出てきました。「東北1号」や「ハイフローラ」はすでに導入されており、2022年には「夏ごしペレ」の発売が予定されています。

これらはライグラス系であるため栄養価が高く、乳牛に適した草種です。いずれの品種も発芽・初期生育に優れるためオーチャードグラスやチモシーに比べ定着しやすく、更新や追い播きが容易です。また、簡易更新や不耕起播種への適性も高いです。

フェストロリウム 東北1号 (ペレニアルライグラスとフェスクの交配種)

- ・採草用として2～3年利用できます。
- ・やや冷涼地向き。県下では沿岸部、中山間地に適しており、根雪が長い場所には適しません。
- ・オーチャードグラスの利用が困難な転作田でも作付可。
- ・初期生育が良く更新や追い播きが容易。
- ・栄養価が高く、乳牛の飼料に適します。

ハイブリッドライグラス ハイフローラ (イタリアンライグラスとペレニアルライグラスの交配種)

- ・採草用として2～3年利用できます。
- ・7～8月の平均気温が24℃以下の地域で利用可。
- ・初期生育が良く更新や追い播きが容易。
- ・栄養価が高く、乳牛の飼料に適します。

ペレニアルライグラス 夏ごしペレ (ペレニアルライグラス) 2022年発売予定

- ・採草用として2～3年利用できます。
- ・耐暑性に優れ、より広い範囲で作付可能です。
- ・初期生育が良く更新や追い播きが容易。
- ・栄養価が高く、乳牛の飼料に適します。

いずれの品種にも各研究機関が作成した栽培マニュアルやリーフレットがwebにございますのでご利用ください。

- ・東北1号、夏ごしペレ（農研機構育成）
- ・ハイフローラ（山梨県育成）

ライグラス類は世界的にもっとも多く利用されている、利用価値の高い草種であり、北海道でも年々作付が増加しています。

現在の圃場の状態をご確認いただき、2022年秋の草地更新に向け新しい草種の利用をご検討ください。ご不明な点がございましたら、各所 購買課へご連絡ください。

北米コンテナ情勢

年末商戦に向けて、北米の輸入量は年間の最盛期を迎えており、比例して主要港の混雑状況も悪化しています。太平洋南西部のロサンゼルス・ロングビーチ港では沖合での荷下ろし待ちの滞船数が70隻となり、平均1～2ヶ月程度の遅延となっています。そのため、抜港や減便、予約のキャンセル等が発生し、船腹の確保に混乱が生じています。

米国から日本への積荷は、上海や釜山といった積替港を経てからの入庫になりますが、8月に世界第3位のコンテナ取扱量を誇る中国の寧波港で作業員のコロナ感染によるターミナルの一時閉鎖の影響を受け、滞船を嫌う船が積替港への寄港を増やした結果、どちらも混雑するという悪循環に陥っています。その結果、積替港から日本に出港するまでに1ヶ月程度足止めを食らうことも頻発する状況となっています。

海上運賃は10月に1コンテナあたり100～200ドルの値上げが実施され、引き続き11月も値上げを予告されており、再び高値圏での推移となることから、商品価格への転嫁が危惧されています。

輸入粗飼料

①アルファルファ

(ワシントン産)

主産地コロンビアベースンでは10月上旬時点で4番刈が終盤を迎えていますが、降雨に見舞われ、雨当たりが発生しているようです。3番刈は収穫中に山火事が発生した影響で過乾燥気味の中級品が多く発生しています。

産地相場は中国向けの輸出が好調なことに加え、干ばつの影響で牧草不足の米国内酪農・肥育農家の需要が強く、下級品から上級品まで上昇が続いています。

(オレゴン産)

南部クラマスフォールズで終了した3番刈は収穫期の降雨の影響で、雨当たり品か刈遅れの中低級品が中心となっています。中部クリスマスバレーでも2番、3番刈がともに雨当たりとなり、上級品は限定されています。産地相場は内需と輸出業者の競合により、高値での推移が続いています。

②チモシー

(US産)

コロンビアベースンで終了した2番刈は、山火事の影響もあり中級品が中心となっています。また、1番刈後に、25%前後の圃場が換金性の高い穀物へ転作をしたと推定され、さらには干ばつの影響で、非灌漑地域での収量が前年比60～70%程度と見込まれるため、内需の強い引き合いもあり、相場は上昇しています。

(カナダ産)

南部レスブリッジの2番刈は例年並みの見込みとなっていますが、中部のクレモナは非灌漑地域のため干ばつの影響を受け、単収が例年比40%の減少となっています。周辺地域では自給飼料が不足した農家が産地相場を牽引する状況になっています。

豪州産オーツヘイ

9月中旬から新穀の収穫が始まっており、西部では天候に恵まれ上級品が中心となっています。南部では降雨不足で単収減が予想され、東部では10月上旬に強めの降雨があり、品質への影響が懸念されています。

豪州コンテナ船情勢

空コンテナ不足が顕著となり、1ヶ月程度の遅延が恒常化しています。コンテナ回収のために滞留期間の大幅短縮や滞留費用の大幅値上げなど強硬手段を取る船社が続出している上、海上運賃は毎月のように値上げが行われており、牧草価格を押し上げる要因となっています。

乳価の推移

販売課

年次別・月別支払乳価一覧(補給金・集送乳調整金を含む)

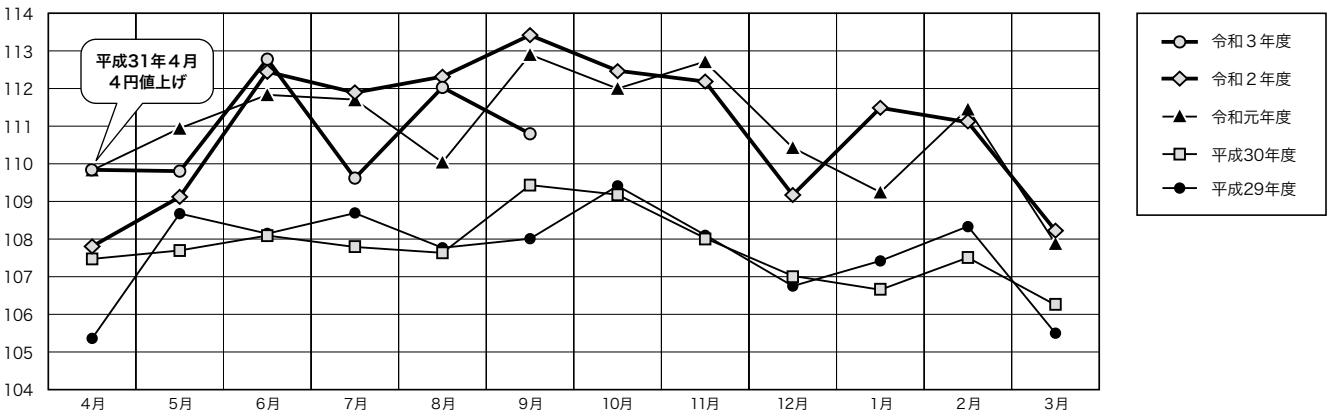
(単位:円/kg)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度	109.846	109.811	112.834	109.626	112.073	110.824							110.836
令和2年度	107.822	109.121	112.471	111.912	112.340	113.452	112.498	112.208	109.173	111.505	111.119	108.218	110.987
令和元年度	109.834	110.957	111.852	111.725	110.046	112.928	112.019	112.741	110.437	109.246	111.480	107.871	110.928
平成30年度	107.462	107.688	108.086	107.781	107.685	109.437	109.182	108.016	107.009	106.636	107.496	106.229	107.726
平成29年度	105.335	108.675	108.138	108.687	107.759	108.002	109.416	108.101	106.735	107.409	108.332	105.466	107.671

※成分加算は含まない

みやぎの酪農乳価

(円/kg)



年末年始休業のお知らせ

総務課

年末年始休業は以下のとおりとなっておりますので、お知らせいたします。

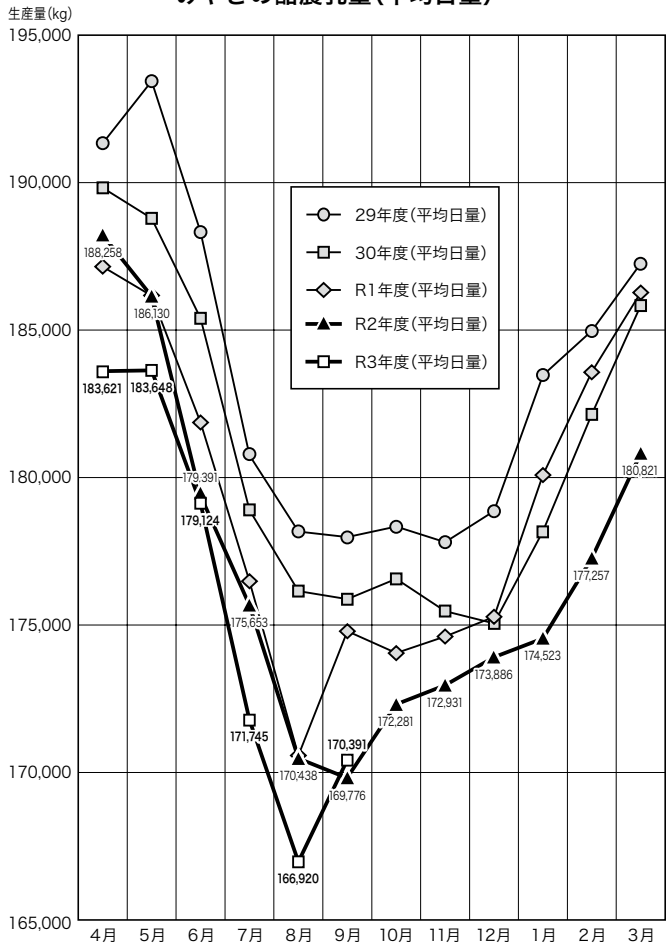
休業期間 **令和3年12月30日(木)～令和4年1月4日(火)**

期間中に購買品の品切れが無いよう早めの対応をお願いします。

令和3年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和3年度生乳生産実績(4月～9月 標準進捗率50.14%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	23	4,415,385.2	4,540,808.7	96.65	8,965,839.0	49.25
蔵王支部	24	4,367,639.7	4,242,255.8	104.35	8,879,064.0	49.19
柴田支部	14	1,962,130.0	2,084,398.0	93.84	3,937,489.0	49.83
伊具支部	16	2,299,287.0	2,458,759.0	92.91	4,737,268.0	48.54
仙台支部	11	1,868,932.4	1,761,212.5	104.52	3,570,877.0	52.34
名取支部	6	376,328.0	434,741.0	85.75	843,970.0	44.59
黒川支部	6	503,563.0	592,769.0	81.53	1,023,825.0	49.18
大崎支部	19	1,725,107.0	1,746,311.0	100.46	3,521,184.0	48.99
遠田支部	15	3,402,941.0	3,146,199.0	106.95	6,501,185.0	52.34
加美支部	14	988,781.0	1,230,151.0	80.70	2,466,487.0	40.09
鳴子支部	9	950,263.0	1,088,404.0	85.73	1,952,610.0	48.67
栗原支部	30	3,267,111.0	3,175,274.0	103.30	6,510,239.0	50.18
登米支部	23	3,706,601.0	3,501,733.0	106.21	7,311,753.0	50.69
本吉支部	15	801,493.0	899,314.0	87.51	1,740,591.0	46.05
石巻支部	5	359,960.0	502,335.0	72.42	811,629.0	44.35
豊里支部	10	1,190,266.0	1,216,896.0	97.69	2,460,990.0	48.37
みやぎの酪農	240	32,185,788.3	32,621,561.0	98.66	65,235,000.0	49.34

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

総務課

【第7回理事会】

開催日 令和3年9月27日

- 付議事項
- 第1号議案 総務委員会に対する諮問について
 - 第2号議案 業務委員会に対する諮問について
 - 第3号議案 耐震診断結果を踏まえた対応について

【第8回理事会】

開催日 令和3年10月29日

- 付議事項
- 第1号議案 令和3年度上半期決算について

【機 械】

機 械 名 コーンハーベスター
 メーカー FERABOLI
 年 式 1997年購入
 価 格 200,000円（税込）
 備 考 2条刈り・値段相談可



機 械 名 マニユアスプレッダー
 メーカー DELICA
 積 載 量 4t
 価 格 600,000円
 備 考 H18年購入・昨年ビータ交換済み
 （スーパービータから縦ビータへ）
 5年前にチェーン交換済み・コンベア
 走度コントロールボックス付



【初妊牛】

No.	支 部	販 売 者	区 分	分 娩 予 定 日
1	白石・七ヶ宿支部	片平 敬一	性判別	1月22日
2	白石・七ヶ宿支部	片平 敬一	性判別	1月26日
3	白石・七ヶ宿支部	片平 敬一	性判別	1月27日
4	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	1月28日
5	白石・七ヶ宿支部	片平 敬一	交雑種	1月29日
6	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	1月30日
7	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	2月 1日
8	白石・七ヶ宿支部	高橋 敦子	性判別	2月 3日
9	蔵 王 支 部	小島 一也	性判別	2月 5日
10	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	2月10日
11	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	性判別	2月14日
12	蔵 王 支 部	小島 一也	交雑種	2月14日

〔 編 集 後 記 〕

先日、とある記事を目にしました。それは、牛の「トイレトレーニング」に成功したと米科学誌に発表された内容です。人間の子供のように子牛を訓練した結果、決まった場所で排尿するようになったとか。屋外で過ごす環境にある牛の温室効果ガス排出削減を目的とした研究ではあるが、人間の3歳児と同じような結果が得られたそうです。「トイレトレーニング」が何かしらの補助事業の取り組みになる日がくるかもしれない。

発 行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)

.....